

教科名	日本史B	単位数	3単位	学科・学年	普通科 3年 ソフィア
教科書名	詳説 日本史			出版社名	山川出版
副教材等	なし			出版社名	なし
科目目標	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				
到達目標 (検定目標)	原始・古代から現代に至る歴史の展開を世界史や地理との関連を重視し、国内外の地理的条件やアジアを含む世界史的視野に立ち、政治、経済、社会、文化、国際環境など歴史を構成する要素を総合した幅広い見方で把握させる。各時代の国家・社会の特色や時代の変遷に関わる総合的な考察を通じて、我が国の文化や伝統がどのような特色をもち、どのように形成されたかについての認識を深める。その際、諸事象の本質をその歴史的な形成・展開の過程を考察し、歴史的思考力の育成を図るとともに、国際社会に主体的に生き平和的で民主的な国家・社会を形成する日本国民としての自覚と資質を養う。				
成績評価	定期考査、小テスト、課題、提出物、授業態度などをもとに、評価の観点により総合的に評価します。				
評価規準	関：関心・意欲・態度 思：思考・判断 技：技能・表現 知：知識・理解				

## 授 業 計 画

月	授 業 内 容	授 業 目 標	評価の観点			
			関	思	技	知
4	Ⅲ部近世 第6章 幕藩体制の確立	○鉄砲やキリスト教の伝来、南蛮貿易の展開を踏まえてヨーロッパ世界との接触とその影響について考察する。 ○幕藩体制とのつながりに着目して、検地や刀狩にみられる兵農分離策を踏まえて、織豊政権の統一過程とその政策を理解する。 ○初期外交から鎖国までの過程について、禁教徹底に伴う貿易統制の側面だけでなく、琉球・朝鮮・蝦夷地との交易など東アジアの動向と関連させて考察する。	●	●	●	●
5	第7章 幕藩体制の展開	○文治政治への転換から元禄時代・正徳の政治を取り上げ、幕政の安定過程を考察する。 ○農業技術の進歩に伴う農業生産の進展、産業の発達と多様化、交通の整備や貨幣・金融制度の確立による商品経済・流通の発達、三都の発達に見える都市の経済的繁栄に着目して、諸産業の展開を考察する。	●	●	●	●
6	第8章 幕藩体制の動揺	○幕府・諸藩の経済的窮乏、百姓一揆・打ちこわしの頻発などに着目して、享保の改革や田沼時代の諸政策の意義について考察する。 ○列強の接近に伴う諸事件による鎖国政策への批判や寛政の改革・文化文政時代・天保の改革	●	●	●	●

		における失政を踏まえて、幕府の衰退を理解する。					
7	第IV部近代・現代 第9章 近代国家の成立	○日米和親条約・修好通商条約締結、開港による経済・社会の情勢変化に着目して、政局への影響を考察する。 ○公武合体、尊王攘夷、倒幕の動きに着目して権力構造の変化を理解する。 ○国会開設要求の運動等に見られる国民の政治的関心の高揚と挫折の過程について考察する。また、憲法の特徴、議会と内閣の在り方などを通して、戦前の立憲制のしくみを理解する。	●	●	●	●	
9	第10章 二つの世界大戦とアジア	○ヴェルサイユ体制からワシントン体制に至る経過や日本の大陸進出に対する中国・朝鮮における民族運動の高揚を考察する。 ○大戦景気に着目して、資本主義の発展による産業構造の変化や労働者の増加など社会構造の変化について考察できたか。また、米騒動や原敬内閣の成立に着目してデモクラシー思想の浸透による政党の役割と動向について考察する。	●	●	●	●	
10	第11章 占領下の日本	○GHQによる諸政策が、対日占領政策に基づくとともに、日本の国民の戦争に対する反省に支えられて実施されたことを理解する。 ○主権在民・平和主義・基本的人権の尊重の3原則を中心とする日本国憲法が制定された経緯と意味を国民生活の状況も踏まえて考察する。 ○サンフランシスコ平和条約の調印による日本の主権回復の意義と、安全保障をアメリカに依存する日米安保条約の締結の意味を考察する。	●	●	●	●	
11	第12章 高度成長の時代	○日ソ共同宣言をはじめとするサンフランシスコ非調印国との国交交渉と、国際連合加盟の意義を理解し、その後の新安保条約・LT貿易・日韓基本条約・沖縄返還問題などを取り上げ、外交・政治の再編過程を把握する。	●	●	●	●	
12	第13章 激動する世界と日本	○ベトナム戦争を遠因とするドル＝ショックや第四次中東戦争に発する石油危機による世界経済の混乱に対応するため開かれた主要先進国首脳会議の役目について理解する。 ○石油危機を技術革新で乗り越え、経済大国となった日本が社会貢献や貿易摩擦・円高への対応が求められたことが考察する。	●	●	●	●	
1	第13章 激動する世界と日本	○冷戦終結後の東欧革命、55年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へ進んだ経済状況など、当時の状況を理解する。	●	●	●	●	

**【履修上の注意およびワンポイントアドバイス】**

- ・教科書、ノートを忘れないようにしましょう。
- ・授業、家庭学習に真剣に取り組み、日々努力しましょう。
- ・授業への取り組む姿勢は、授業態度、ノート提出、発表の状況などを評価の対象とします。